

三重県 高校入試情報

令和7年度三重県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は7題、小問数は31問で昨年とほぼ同じ。
- 大問1は小問集合、大問2は箱ひげ図、大問3は確率、大問4は連立方程式の利用、大問5は関数と図形の融合、大問6は三平方の定理と空間図形、大問7は相似の証明を含む円の問題。
- 例年同様、作図問題、完全記述式の証明問題も出題された。
- 問題数が多く、中学3年間の学習内容から広く出題されるが、大問1の小問集合が配点の約4割を占める。基本的な事項を一通り押さえておく必要がある。

★三重県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。
多くの問題にあたって、慣れておく必要がある。

新研究で対策！

●「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p.180～181)、「チャレンジ！関数と図形の融合問題」(p.184～185)で、応用問題を解く力をつけることができます。

■証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

●「ウォームアップ特集 合同の証明」(p.82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p.96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p.182～183)で、集中強化できます。

問題数が多く時間がかかるので、
確実に得点できる問題から着手することも大切だよ。



★三重県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●		●	●
		方程式		●	●	●
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●	●	●
		三角形				●
		平行四辺形	●		●	
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●		●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数		5	7	7	7
	小問数		28	30	29	31
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など				
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)	1			

★新研究で出題した三重県の入試問題(令和7年度)

p.23大問4(1),p.91大問1,p.105大問3,p.123大問1(3),p.135大問2(2),p.141大問4,p.168例題